



失業救済の爲に道路を改良せよ

一 記 者

特別議會に於ては朝野兩黨とも相當論戰したが論議の焦點と爲つた問題は餘り吾々の實際生活に關係を有するものは尠なかつた統帥權問題の如きは即ち夫れを物語る不景氣の招來に因つて發生し發生しつゝある失業者を如何にして救済し國家生活の安定を圖るかと言ふやうな國民生活に直面した重大問題に就ては纔に申譯的に論議せられ徒に朝野兩黨の人氣取り策に弄されたかの感

がある政治責任の地位にある國務大臣ですら、此問題は重要施政であるが解決困難で名案があれば承りたい杯と放言しても、誰一人として之に論鋒を放つの智識と自信の持合が無かつたことは朝野兩黨とも無方針であることを表明するもので頗る遺憾とする、併しながら此問題は獨り一經濟現象として看過すべきものでなく社會乃至は政治問題として火急に解決を要する要務である。

○

失業者續出の原因は頗る複雑であるが最大の主因は財界が不況であつて事業を縮少廢止したことに原因するのは何人も疑はざる所である。従つて之を防止するには其原因を與へた財界の不況を挽回するに在るは昭かであるが、此ことたる容易の業ではない、加之失業者を眼前に立たしめて失業保護乃至失業防止を論議するのは泥繩式以上の愚策たるを失はない、併しこと茲に至らしめたのは現内閣の採つた財政々策の結果であるから之が跡始末は當然現内閣の責務であると言はねばならぬ、然るに此責務を有する現内閣が特別議會に於て聲明し答辯した所は頗る不徹底であつて、職業紹介所の改善の如き松方幸次郎氏の言を借る迄もなく、職業紹介は單に勞働の需供を周旋するに止り新たに勞働の需用を喚起するものではない、故に失業救済としての職業紹介は抑々末のことであるにも不拘職業紹介所の改善を力説し一方には緊縮政策を固持して官民業務の抑制を唱導して居る如きは矛盾も亦甚しい考察と言はざるを得ない。従つて責任を以て失業問題を解決せむとするには現内閣の固持する消極政策を緩和して國又は公共團體の事業を興して失業者を救済することが

刻下緊喫の要務である。

固より金なくして事業を興し得べきでない之が爲には適當の財政を按ずるの必要がある。故に従來の非募債主義を緩和して例外を認むるのも一方法である。又減債資金の繰入を一時停止するのも亦一方法である。併し是等の方法につ依て興すべき事業は公債支辯に依るべき性質を有する事業に限らなければならぬ。即ち後世人をして負債を支辨せしむるに足るべき利益ある生産的の事業でなければならぬ。之に最も適應した事業は即ち道路の改良に在る。蓋し輓近自動車の發達に依つて道路の改良は國民經濟生活上の最大急務とされてゐる。故に遅かれ遠かれ國家又は公共團體は之に對して費用を投資し經濟力を増大せなければならぬ。域に在るが故に失業救濟事業として之を執行しても公の財政に損失を及ぼすものではない。之を海外諸國の事例に徴し英國やら獨逸乃至伊太利が執行した失業救濟事業の成績に就て見ても肯定せざるを得ないのである。政友會内閣時代に於て道路改良費の豫算に對し餘り自覺を持たなかつた。三土前藏相でさえ今日に於ては道路改良事業を以てすることの必要を痛感して既に改論してゐる位に夫れ程適切な事業である。従つて現内閣は叙上の財政策に則り此際地方に補助をして道路改良事業を促進するの責務がある。

道路改良事業を起すにしても、失業者を救濟するに利便な地方に於て最も事業效果の擧るものを

選擇せなければならぬ夫れが爲には前内閣が樹立した産業道路政策を執行することが此問題を解決するに唯一のものと言ふても過言ではない。蓋し此事業たるや全国各地に散在して之に依る利益は地方に均霑さるべく農村の疲弊を救済し労働者の都市集中を抑制するの効果を有するからである。近時傳ふる所に依れば現内閣は都市に於ける土木事業の起債を許し之に要する勞力費に對し補助するやうであるが、此の如き方針の下に施政するときは、農村の失業者は自然都市に集中して一層救済問題の範圍を擴張し、失業の救済に非ずして寧ろ失業者を都市に集中せしむることゝ爲つて策の得たものではない。或は産業道路政策を執行することは前内閣の放漫政策を繼承した譏を受くるのと嫌忌するのであらうが、此の如き偏見は失業救済と言ふ大問題を解決するに方り從來の行き掛りに捉はるべきでない。況んや産業道路改良計畫も憲政會内閣の樹立した政策なるに於て一層然りである。現内閣が飽くまでも消極政策を固執し失業者の救済を閉却して産業道路の改良を助勢しないならば、是等に動機して民心を離反せしめ内閣の生命を奪ふであらうことを想つて當局の反省を求むる。